



第64回国民体育大会

本町の高校生たちが大活躍



次の大会での優勝を目指し練習に汗を流す中村裕真君

第64回国民体育大会は9月26日から新潟県で開催され、ポーツ競技とレスリング競技で本町の2人の高校生が上位に入賞する素晴らしい活躍を見せました。

ポーツ女子ダブルスカル

田村選手(山田高)見事準V

9月27日から行われたポーツ競技で、少年女子ダブルスカルに山田高校の田村詩織さん(3年)が宮古高校の山根由緒さん(3年)とのペアで出場しました。大会前に1週間の合同合宿を行い大会に臨んだ田村・山根ペア。予選ではうまく力がかみ合わず落選したものの、敗者復活戦から勝ち上がった準決勝では実力を発揮し1位で決勝へ進出し、1000円で4艘が争った決勝では、序盤から2位に付け終盤ラストパートで追い上げるものの、そのままゴール。堂々の準優勝をつかみました。田村さんは「優勝をねらって



10月5日、沼崎町長に国体準優勝の報告を行う田村詩織さん

いたので悔しい気持ちはあるが、大会で得た自信を胸にこれからもいろんなことにチャレンジしていきたい」と話していました。

グレコローマン55kg級
中村選手(宮古商高)は5位

9月27日から行われたレスリング競技には、少年グレコローマンスタイル55kg級に宮古商業高校の中村裕真君(2年)が出場。今年のインターハイなど全国の大舞台を経験した中村君。初戦は実力を十分に発揮、相手にポイントを与えず快勝しました。続く準々決勝の対戦相手は全国高校グレコ2位の強敵。わずかに力及ばず敗退しましたが、見事5位入賞を果たしました。中村君は「体方面は全国でも通用すると確信した。今後は技術面でさらに磨きをかけ、11月の新人戦で優勝したい」と力強く話していました。

第24回県中学校駅伝競走大会

山田中女子が笑顔でV2



岩手県中学校駅伝競走大会で、山田中女子が優勝しました。大会は10月9日に

花巻市で行われ、女

子の部には県内各地区の代表42チームが出場。1区で富士恵さん(2年)が好スタートを見せ2位につけた山田中女子は、2区で佐々木彩華さん(1年)が大迫中を抜いて

たおかげで優勝できた。全国大会での30位以内を目標に、全員でレベルアップしていきたい」と抱負を話してくれました。男子も堂々の4位入賞

トップに。3区の千代川るいさん(3年)と4区の尾形美月さん(2年)がともに区間賞の走りです。2位以下を引き離すと、たすきを受けたアンカー西館央恵さん(3年)が首位をキープしたまま笑顔でゴール。2年連続2度目の優勝を大会新記録で飾りました。結果、女子は12月19日に山口県で開催される全国大会と、11月31日に青森県で開催される東北大会への切符を手に入れました。

同日行われた男子の部に出場した山田中男子は、1区で昆充君が区間新記録の走りです。その後順位を落とすものの、堂々の4位入賞を果たしました。◆男子出場選手 昆充(2年)、内館航大(2年)、伊東直人(3年)、遠藤大滉(2年)、大手悠貴(3年)、佐々木樹希弥(2年) 《敬称略》

女子主将の西館央恵さんは「必ず全国に行こうと誓い合った仲間がたすきをつないでくれ



右手を突き上げ笑顔でゴールする女子アンカーの西館央恵さん(上写真) / 2連覇を達成した山田中女子



4位入賞と健闘した山田中男子